

様式第 1 号

2026 年 6 月 30 日

文部科学大臣 殿

学校法人羽衣学園

理事長 松井基純

大学等における修学の支援に関する法律第 3 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	羽衣国際大学
大学等の種類 (いずれかに○を 付すこと)	(☒ 大学・短期大学・高等専門学校・専門学校)
大学等の所在地	大阪府堺市西区浜寺南町 1-89-1
学長又は校長の氏名	中川 恵
設置者の名称	学校法人羽衣学園
設置者の主たる事務 所の所在地	大阪府高石市東羽衣 1-11-57
設置者の代表者の氏 名	松井基純
申請書を公表する予 定のホームページア ドレス	https://www.hagoromo.ac.jp/campuslife/schoolexpense

※ 以下のいずれかの☒にレ点 (☒) を付けて下さい。

☐ 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

☒ 更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての☒にレ点 (☒) を付けて下さい。

☒ この申請書（添付書類を含む。）の記載内容は、事実と相違ありません。

☒ 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律（以下「大学等修学支援法」という。）に基づき、基準を満たす学生を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。

- ☒ 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- ☒ この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- ☒ 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第3条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	事務局次長 中川亜紀	072-242-6164	kikaku@hagoromo.ac.jp
第2号の1	事務局次長 中川亜紀	072-242-6164	kikaku@hagoromo.ac.jp
第2号の2	事務局次長 中川亜紀	072-242-6164	kikaku@hagoromo.ac.jp
第2号の3	事務局次長 中川亜紀	072-242-6164	kikaku@hagoromo.ac.jp
第2号の4	事務局次長 中川亜紀	072-242-6164	kikaku@hagoromo.ac.jp

○添付書類

- ※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点（☒）を付けた上で、これらの書類を添付してください。（設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。）

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- ☒ 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- ☒ 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- ☐ 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- ☒ 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料

その他

- ☒ 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- ☒ 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校コード	F127310108232	学校名	羽衣国際大学
設置者名	学校法人羽衣学園		

I. ①直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	3,638,331,715円	3,571,371,370円	66,960,345円
申請2年度前の決算	3,328,279,076円	3,298,071,854円	30,207,222円
申請3年度前の決算	3,365,444,709円	3,337,047,652円	28,397,057円

I. ②直前の決算の貸借対照表における「運用資産－外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	3,385,460,064円	1,366,589,651円	2,018,870,413円

II. 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率(F)/(E)
今年度(申請年度)	1,188人	1,215人	102%
前年度	1,186人	1,173人	99%
前々年度	1,188人	1,146人	96%

大学・短期大学・高等専門学校で、II. 申請校の直近3年度の全ての収容定員充足率が8割未満の場合
申請前年度に当該学校を卒業した者について、今年度(申請年度)5月1日時点の状況について

(A)又は(B)のいずれかを記載

・申請校の直近の進学・就職率の状況(A)学校基本統計を利用する場合

	卒業者数(G)	進学者数+就職者数(H)	進学・就職率(H)/(G)
申請前年度の状況			

・申請校の直近の進学・就職率の状況(B)学校基本統計を利用しない場合

	進学希望者+就職希望者(I)	進学者数+就職者数(J)	進学・就職率(J)/(I)
申請前年度の状況	人	人	

(I. ②の補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	資産の内容	申請前年度の決算における金額
特定資産		987,284,278円
現金預金		2,238,175,786円
有価証券		160,000,000円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	負債の内容	申請前年度の決算における金額
長期借入金		1,115,070,000円
短期借入金		127,140,000円
短期学校債		2,600,000円
未払金		121,779,651円

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	羽衣国際大学
設置者名	学校法人羽衣学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部等 共通 科目	専門 科目	合計		
現代社会学部	現代社会学科	夜・通信	0		26	42	13	
	放送・メディア映像学科	夜・通信			22	38	13	
人間生活学部	人間生活学科 ファッションデザインコース 住空間デザインコース こども教育コース	夜・通信	16	0	33	49	13	
	人間生活学科 食クリエイトコース	夜・通信				30	46	13
	食物栄養学科 医療栄養コース フードデザイン・食育コース スポーツ栄養コース グローバル栄養コース	夜・通信		0	23	39	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページで公表 2026年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表 https://www.hagoromo.ac.jp/system/wp-content/uploads/2026/06/jitsumuka_2026.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)
該当なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	羽衣国際大学
設置者名	学校法人羽衣学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで公表（学校法人羽衣学園 役員等名簿）令和8年4月1日現在
https://www.hagoromo.ac.jp/system/wp-content/uploads/2026/04/yakuinmeibo_r8.4.1.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	美羽会（大学・短大卒業生の会）名誉会長・最高顧問	R7.6.30～ R11 定時評議員会終結の時	国際交流担当
非常勤	元大阪市健康福祉局 健康推進部保健主幹	R7.6.30～ R11 定時評議員会終結の時	地域連携担当
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	羽衣国際大学
設置者名	学校法人羽衣学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 本学においては、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに則して各授業科目の到達目標を設定して学生の学修到達度を評価している。ディプロマ・ポリシーならびにカリキュラム・ポリシーは「知識・理解」「汎用的能力」「態度・志向性」「統合的な学修体験と創造的思考力」の4分野に分類し、各科目の位置づけを明確にしている。 上記及び「本学における単位認定の方針」に基づき、FD委員会が、授業の方法及び内容、到達目標などシラバスの各項目の具体的な作成要領を作成、配布して、その要領に基づいて記載するように科目担当者に求めている。 1月下旬から2月中旬に科目担当者が作成したシラバスは、各学科長と教務支援課職員がシラバス作成の要求に符合するかどうか確認を行っている。確認を終えたシラバスは、毎年3月の履修ガイダンスまでにホームページ上で公開し、学生の科目選択に資している。	
授業計画書の公表方法	ホームページで公表 https://portal.hagoromo.ac.jp/aa_web/syllabus/se0010.aspx?me=EU&opi=mt0010
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学則及び「本学における単位認定の方針」において、「単位の計算方法」及び「単位の認定」について詳細に規定しており、それに依拠して単位の認定を行っている。 また、学生が1セメスターに履修科目として登録することのできる単位数の上限を定めると同時に、成績優秀で意欲のある学生には、その制限を緩和することを定めることによって、学生が各学年次にわたって適切に授業科目を履修するように指導している。 さらに、前項で述べたとおり、FD委員会で、シラバス作成の指針を作成しているが、そこにおいては、学修成果の適切な評価を強く求め、また各学科、教務支援課等において確認作業を行うことで、厳格かつ適正な成績評価が行われることを保障している。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本学においては比較的早い時期から GPA を成績評価方法として導入しており、履修した単位について、素点とそれに対応した評価、GPA での成績評価を実施している。GPA の算定方法、素点・評価・GPA の対応基準点は学生に公表されており、学生は GPA を見ることで、自らの成績の位置を確認して、履修の点検材料として活用することができるようになっている。本学における GPA の算出方法は下記の通りである。 GPA の計算(小数点 2 位以下切捨て) $\text{GPA} = (\text{秀の単位数} \times 4) + (\text{優の単位数} \times 3) + (\text{良の単位数} \times 2) + (\text{可の単位数} \times 1)$ 履修登録をした科目単位数の合計(不合格科目を含む) 成績分布の把握については教育 IR 担当職員が、2014 年度入学者より学期ごとに成績調査を実施し、必要に応じて各種会議等で教職員に公開している。なお、素点分布や成績順位等について、学生には公開していない。 シラバスがディプロマ・ポリシーに適ったものになっているかどうかは、前述したようにシラバスの点検が行われているが、また、学生の授業アンケートによって、実際にシラバスに記載されている通りの授業が行われているかも点検する体制が整えられている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	「履修と授業の基本ブック」及びホームページで公表 https://www.hagoromo.ac.jp/pdf/GPA.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定に関する方針は学則第 50 条に規定しており、8 セメスター、4 年以上(編入学・再入学した者は別に定めている)在学し、卒業に必要な授業科目及び単位数(現代社会学部では 128 単位以上、人間生活学部においては 124 単位以上)を修得した者の卒業を認定することになっている。学則はディプロマ・ポリシーとともに『キャンパスガイドブック』及びホームページによって公表している。また、各学期の履修ガイダンスにおいても、その方針を必ず説明することによって学生への周知を図っている。 卒業の判定は教学委員会において卒業に必要な単位数を満たしているかどうか、必要な在籍期間を満たしているかどうかに基づいて審査を行い作成した案を、各学部の教授会で更に審議を行い、学長が卒業の認定を行っている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページで公表 https://www.hagoromo.ac.jp/guide/spirit02#sec05

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	羽衣国際大学
設置者名	学校法人羽衣学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページで公表 https://www.hagoromo.ac.jp/edu/financial.html
収支計算書又は損益計算書	ホームページで公表 https://www.hagoromo.ac.jp/edu/financial.html
財産目録	ホームページで公表 https://www.hagoromo.ac.jp/edu/financial.html
事業報告書	ホームページで公表 https://www.hagoromo.ac.jp/edu/financial.html
監事による監査報告(書)	ホームページで公表 https://www.hagoromo.ac.jp/edu/financial.html

2. 事業計画(任意記載事項)

(名称: 令和8年度事業計画 対象年度: 令和8年度)
公表方法: ホームページで公表 https://www.hagoromo.ac.jp/edu/pdf/jigyous_r8.pdf
中長期計画(名称: 羽衣学園第IV期中期計画 対象年度: 令和5(2023)~令和9(2027))
公表方法: ホームページで公表 https://www.hagoromo.ac.jp/edu/pdf/chukikeikaku_gaiyou.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページで公表 https://www.hagoromo.ac.jp/guide/information#evaluation
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページで公表 https://www.hagoromo.ac.jp/guide/information#evaluation
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 現代社会学部、人間生活学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページで公表） 建学の精神・教育理念 https://www.hagoromo.ac.jp/guide/spirit02 大学の人材養成に関する目的 https://www.hagoromo.ac.jp/guide/spirit02
（概要） 本学は「『愛真教育』を基盤とした『自由・自主・自律・個性尊重の人間教育』を通して、社会に有意な人材を育成する」ことを建学の精神とし、それに基づく「これからの共生社会において主体的に行動する実践的職業人の育成」を使命・目的としている。 また、人材養成に関して、「社会、人間、地域について深く専門の学術を研究教授し、現代社会において必要とされる知識を授け、豊かな教養と優れた知見と技能を持ち、わが国と国際社会に貢献しうる有意の人材を育成し、もって社会の健全な発展に寄与すること」を教育研究上の目的としている。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公表） 全学共通（全学共通 ディプロマ・ポリシー） https://www.hagoromo.ac.jp/guide/spirit02 現代社会学部現代社会学科（現代社会学科のディプロマ・ポリシー） https://www.hagoromo.ac.jp/guide/spirit02 現代社会学部放送・メディア映像学科（放送・メディア映像学科のディプロマ・ポリシー） https://www.hagoromo.ac.jp/guide/spirit02 人間生活学部人間生活学科（人間生活学科のディプロマ・ポリシー） https://www.hagoromo.ac.jp/guide/spirit02 人間生活学部食物栄養学科（食物栄養学科のディプロマ・ポリシー） https://www.hagoromo.ac.jp/guide/spirit02
（概要） これからの共生社会において、自ら「かけがえのない存在」であることを認識するとともに、学部・学科の目指す専門知識・技能を身につけ、自らの将来について明確なビジョンと行動力を持ち、社会で信頼され活躍できる人間力の基盤を確立している人に学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公表） 全学共通 https://www.hagoromo.ac.jp/guide/spirit02 現代社会学部現代社会学科（現代社会学科のカリキュラム・ポリシー） https://www.hagoromo.ac.jp/guide/spirit02 現代社会学部放送・メディア映像学科（放送・メディア映像学科のカリキュラム・ポリシー） https://www.hagoromo.ac.jp/guide/spirit02 人間生活学部人間生活学科（人間生活学科のカリキュラム・ポリシー） https://www.hagoromo.ac.jp/guide/spirit02 人間生活学部食物栄養学科（食物栄養学科のカリキュラム・ポリシー） https://www.hagoromo.ac.jp/guide/spirit02

(概要) ディプロマ・ポリシーを踏まえ、卒業時に備えるべき力を育成するため、全学共通（基盤教育）及び現代社会学部、人間生活学部の両学部において、学科ごとにカリキュラム・ポリシーを定めている（上記 URL 参照）。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表） 全学共通 https://www.hagoromo.ac.jp/guide/spirit02 現代社会学部現代社会学科（現代社会学科のアドミッション・ポリシー） https://www.hagoromo.ac.jp/guide/spirit02 現代社会学部放送・メディア映像学科（放送・メディア映像学科のアドミッション・ポリシー） https://www.hagoromo.ac.jp/guide/spirit02 人間生活学部人間生活学科（人間生活学科のアドミッション・ポリシー） https://www.hagoromo.ac.jp/guide/spirit02 人間生活学部食物栄養学科（食物栄養学科のアドミッション・ポリシー） https://www.hagoromo.ac.jp/guide/spirit02
(概要) 本学は、学内外の学びを通して自分自身と真摯に向き合い、他者と協調しつつ、自らの可能性に挑戦し、将来に対して明確なビジョンを確立したいと思っている人材を求めている、その方針に基づき、現代社会学部、人間生活学部の両学部において、各学科ごとにアドミッション・ポリシーを定めている（上記 URL 参照）。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページで公表 大学組織図、附属研究施設・機関、事務組織 https://www.hagoromo.ac.jp/guide/message
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	2 人	－					2 人
現代社会学部	－	11 人	12 人	4 人	0 人	0 人	27 人
人間生活学部	－	12 人	6 人	4 人	0 人	0 人	22 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		118 人					118 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：ホームページで公表 教員紹介 https://www.hagoromo.ac.jp/guide/guide_teacher					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
2025 年度							
9 月 10 日（水）第 1 回 FD・SD 研修会							
3 月 11 日（水）第 2 回 FD・SD 研修会							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
現代社会学部	178 人	213 人	119.6%	704 人	757 人	107.5%	2 人	1 人
人間生活学部	115 人	124 人	107.8%	484 人	458 人	94.6%	7 人	5 人
合計	293 人	337 人	115.0%	1188 人	1215 人	102.2%	9 人	6 人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
現代社会学部	145 人 (100%)	1 人 (0.69%)	124 人 (85.52%)	20 人 (13.79%)
人間生活学部	95 人 (100%)	2 人 (2.11%)	81 人 (85.26%)	12 人 (12.63%)
合計	240 人 (100%)	3 人 (1.25%)	205 人 (85.42%)	32 人 (13.33%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 【様式第2号の3再掲】 本学においては、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに則して各授業科目の到達目標を設定して学生の学修到達度を評価している。平成29年度より導入された新カリキュラムにおいては、カリキュラム・ポリシーを「知識・理解」「汎用的能力」「態度・志向性」「統合的な学修体験と創造的思考力」の4分野に分けている。 上記のことを前提とし、かつ「本学における単位認定の方針」に基づき、FD委員会が、授業の方法及び内容、到達目標などシラバスの各項目の具体的な作成要領を作成、配布して、その要領に基づいて記載するように科目担当者に求めている。 1月下旬から2月中旬に科目担当者が作成したシラバスは、各学科長と教務支援課職員がシラバス作成の要求に符合するかどうか確認を行っている。確認を終えたシラバスは、毎年3月の履修ガイダンスまでにホームページ上で公開し、学生の科目選択に資している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 学則及び「本学における単位認定の方針」において、「単位の計算方法」及び「単位の認定」について詳細に規定しており、それに依拠して単位の認定を行っている。成績評価の仕方についてはシラバスに明記している。卒業の認定に関する方針は学則第50条に規定しており、8セメスター、4年以上(編入学・再入学した者は別に定めている)在学し、卒業に必要な授業科目及び単位数(現代社会学部では128単位以上、人間生活学部においては124単位以上)を修得した者の卒業を認定することになっている。学則はディプロマ・ポリシーとともに『キャンパスガイドブック』及びホームページによって公表している。 また、学生が1セメスターに履修科目として登録することのできる単位数の上限を定めると同時に、成績優秀で意欲のある学生には、その制限を緩和することを定めることによって、学生が各学年次にわたって適切に授業科目を履修するように指導している。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
現代社会学部	現代社会学科	128 単位	有・無	24 単位
	放送・メディア映像学科	128 単位	有・無	24 単位
人間生活学部	人間生活学科	124 単位	有・無	24 単位
	食物栄養学科	124 単位	有・無	24 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページで公開 https://www.hagoromo.ac.jp/campuslife#campus-map
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
現代社会 学部	現代社会 学科	860,000 円	250,000 円	250,000 円	
	放送・メ ディア映 像学科	900,000 円	250,000 円	350,000 円	
人間生活 学部	人間生活 学科	870,000 円	250,000 円	270,000 円	
	食物栄養 学科	920,000 円	250,000 円	350,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要）各学生については、ゼミ担当教員（現代社会学部）クラスアドバイザー（人間生活学部）が修学状況および成績の管理・把握を行っている。クラスアドバイザーは、日常的な学生の状況把握の一環として出席状況を確認し、欠席が多い学生に対しては面談を実施するなど、早期の支援に努めている。 また、成績不振者や取得単位数が少ない学生に対しては、個別面談を実施するとともに、必要に応じて保護者を交えた面談を行い、学修上の課題の改善および修学意欲の向上に向けた支援を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 本学では学生の進路選択に係る支援部門として大学事務局に「キャリア支援課」を置き、専任職員2名、嘱託職員2名、業務委託キャリアカウンセラー3名（国家資格キャリアコンサルタント所持者で月～金フルタイム勤務）の計7名の職員を中心に、教職協働による「キャリア委員会」及び各学部学科教員と連携して、全学的に支援を行っている。 1年次配当科目「キャリア入門」、2年次配当科目「キャリアデザイン論Ⅰ・Ⅱ」、3年次配当科目「キャリアプランニングⅠ・Ⅱ」と連動し、学生個々の進路選択・就職活動に対して求人紹介や個別相談を行っているとともに、3年次からはキャリア支援課主催の「学内合同企業研究会」「学内会社説明会」「学内採用選考会」等をはじめとする各種就職支援行事を実施し、進学希望者向けには「大学院進学説明会」の開催、資料閲覧コーナーに各大学院の学生募集要項を配架する等の支援の取組を実施している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要）新入生に対しては、入学時に「健康診断問診票」を用いて心身の健康状態を確認するとともに、面談を実施し、大学生活に対する不安の軽減に努めている。 また、特別な配慮を必要とする学生については、「配慮願」の提出に基づき、個々の状況に応じた支援を行っている。心身の不安や悩みを抱える学生に対しては、臨床心理士による学生相談室を設置し、相談支援を実施している。さらに、健康面や体調面に不安のある学生に対しては、保健室担当者が個別に助言や支援を行う体制を整えている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページで公表（情報公開） https://www.hagoromo.ac.jp/guide/information 備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F127310108232
学校名 (〇〇大学 等)	羽衣国際大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 羽衣学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		225人（109）人	218人（107）人	443人（216）人
内 訳	第Ⅰ区分	90人	84人	
	(うち多子世帯)	(17人)	(18人)	
	第Ⅱ区分	34人	37人	
	(うち多子世帯)	(ー)	(ー)	
	第Ⅲ区分	24人	19人	
	(うち多子世帯)	(ー)	(ー)	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	28人	25人	
	区分外（多子世帯）	49人	53人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0）人
合計（年間）				443人（216）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	21人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	—	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	人	人
計	24人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	8人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	28人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	人	人
計	28人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。